

日本人の食事摂取基準(2020年版)について

平成30年9月20日

第41回 厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会

資料8

【背景】

- 食事摂取基準は、健康の保持・増進、生活習慣病の発症予防を目的として、エネルギー及び各栄養素の摂取量について、1日当たりの基準を示したものであり、5年ごとに改定を行っている。

【策定方針】

- 2020年度から使用する「日本人の食事摂取基準(2020年版)」では、更なる高齢化の進展や糖尿病有病者数の増加等を踏まえ、栄養に関連した代謝機能の維持・低下の回避の観点から、生活習慣病の発症予防と重症化予防に加え、**高齢者の低栄養予防やフレイル予防も視野に入れて検討**する。
- 2018年4月20日から検討会を立ち上げ、2020年版の策定方針を検討し、2018年度末を目途に報告書を取りまとめ、2019年度に改定(告示)を行う予定。

経済財政運営と改革の基本方針2018 について(抄)(平成30年6月15日閣議決定)

4. 主要分野ごとの計画の基本方針と重要課題

(1) 社会保障

(略) 高齢者の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策183や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防、就労・社会参加支援を都道府県等と連携しつつ市町村が一体的に実施する仕組みを検討するとともに、インセンティブを活用することにより、健康寿命の地域間格差を解消することを目指す。また、**フレイル対策にも資する新たな食事摂取基準の活用を図るとともに、事業所、地方自治体等の多様な主体が参加した国民全体の健康づくりの取組を各地域において一層推進する。**

(以下、略)

食事摂取基準(2020年版)の策定スケジュール

